

2022 年度

2/3 入学試験 合科型論述テスト

注意

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子の中を見てはいけません。
2. 解答用紙は 2 枚あります。放送の指示にしたがって、それぞれの解答用紙の指定された場所にQRコードシールをはり、受験番号・氏名を記入します。
3. 試験時間は 60 分です。
4. 問題冊子は、1 ページから 10 ページまで印刷してあります。試験が始まったら最初に確認し、足りないページがあったら申し出てください。
5. 答えはすべて解答用紙に記入してください。
6. 試験が終わった後、問題冊子・解答用紙とも回収します。

共立女子中学校

次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。

共子さんと立子さんは、東京都千代田区の神保町にある共立女子中学校の新聞委員会の生徒です。新聞の記事のテーマ選びのために、委員会の先生と学校の近くを散策することになりました。学校を出発して、靖国通りを歩いていきます。

共子：靖国通りって、車の交通量が多くて広い通りなんですね。

先生：東京パラリンピックの時には、マラソンのコースにもなったんだよ。その横断歩道を渡って、反対側の歩道を歩いてみようか。

3人は、横断歩道を渡りました。

立子：あれ？ こちら側には、古書店がたくさんありますね。

先生：このあたりは世界に誇れるほど多くの古書店が並ぶ場所として有名なんだよ。

共子：古書？ 古本とはどう違うのですか？

先生：古書とは一般的に、再び印刷されることがない本のことなんだ。古書には地図や手紙なども含まれていて、歴史的価値が高いものもあるんだよ。

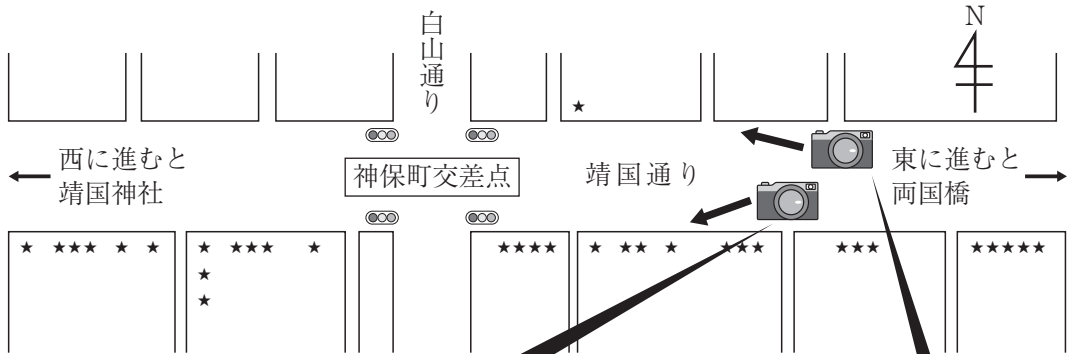
立子：どうしてこのあたりには古書店が多いのですか？

先生：明治時代以降、周辺に大学が次々と建てられ、学生の街として発展したんだよ。本を安く手に入れたいという学生の希望もあって、古本を扱うお店ができたと言われてるよ。その本屋さんの中で、特に古書を扱うお店も増えてきたんだ。この分布図を見てごらん。神保町付近の古書店がある場所を★で示してみたんだけど。

神保町 古書店の分布図

★…古書店のある場所

(出典:「JIMBOCHO 古書店MAP」(神田古書店連盟)より本校が作成)



写真A



写真B

共子：こんなにたくさんあるんですね。

立子：お店の外にまで本を並べている古書店が多いですね。写真を撮っておこう（上図の
写真A）。

先生：分布図を見て、古書店がある場所にどんな特徴があるか、わかるかな？

立子：何だろう……。

共子：わかった！ 古書店の多くは（ ① ）。

先生：よく気づいたね。なぜ古書店の分布にこのような特徴があると思う？ 本は紙で
できているということもヒントになるよ。

立子：さっき、反対側の歩道を歩いている時にとった写真（上図の写真B）と見比べたら
わかりました。（ ② ）からですか？

先生：そうだね。今日みたいな晴れた日は影^{えいさよう}響^{きやう}が大きいね。

共子：こうして歩いて見ると、同じように見える古書店にもたくさん種類があるので
すね。

立子：一見すると倉庫のように、本が積み上げられたお店もあるし、輸入雑貨屋さんや
カフェか^{みま}ちが^が見間^ま違^{ちが}えるようなお店もあるよ。

先生：なんとなく入りづらいという人は、まずは入りやすい雰^{ふん}囲^い気^きのお店から始めると

いいかもしれないね。若いオーナーさんも多くて、中学生でも読んでみようと思える本も置かれているよ。そうだな、この本屋さんに入ってみようか。

立子：1冊が100円程度で買える本もあるわ。雑誌コーナーもある。

共子：この雑誌は私が生まれた年に発刊されているよ！もっと古いものもたくさんあるわ。

先生：古書店の中ではタイムスリップしたような気分を味わえるね。さあ、外に出ようか。

共子：この通りは、靖国神社の前を通っているから「靖国通り」と呼ぶのですか？

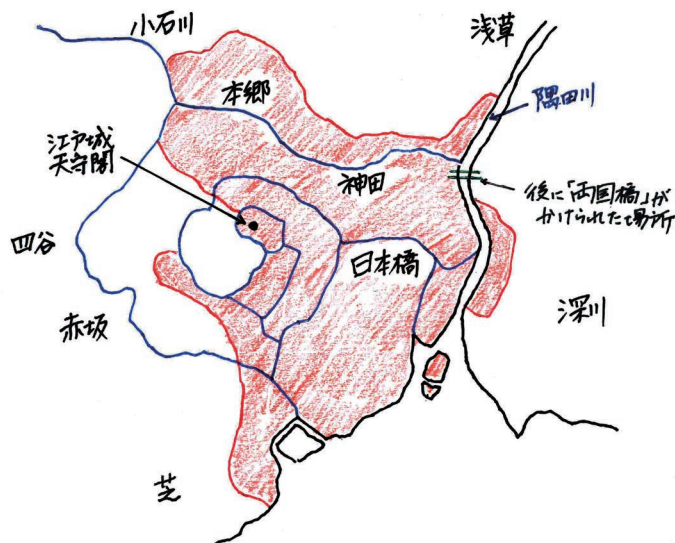
先生：そうだよ。西に行くと靖国神社に、東にずっと行くと両国橋に着くよ。

立子：両国橋は隅田川にかかっている橋の一つですね。隅田川には他にもたくさんの橋がかけられていますよね。

先生：でも、江戸時代の初めには千住大橋以外は橋がかけられていなかったんだよ。主な理由は、幕府に敵対する大名の攻撃から、江戸の町を守るためと言われているよ。それから、当時は川を渡るのに船を使うのが一般的だったから、多額の費用をかけてまで隅田川に橋をかける必要性を感じなかったんだね。

共子：では、なぜ両国橋がかけられたのですか？

先生：1657年に起きた明暦の大火という火事が関係しているんだ。これは実際に古書店で購入した古書から分かったことを地図にしたものだよ。明暦の大火は、地図の赤く塗られた部分、江戸城天守閣をはじめ江戸の街の60%以上が焼失した大火事だったんだ。建物が焼けただけでなく、7～10万人もの人が亡くなった。その後なんだよ、両国橋がかけられたのは。



立子：どうして火事と橋の建設が関係あるのですか？

先生：それは（ ③ ）からだよ。明暦の大火の反省というか、教訓を生かしたんだね。両国橋がかけられたことで、その後、隅田川の東側にも人が流入して開発が進み、同時に海岸の埋め立ても江戸時代から行われて、江戸の町が発展していったんだよ。

共子：昔の本からこんなことまで分かるなんて、古書に歴史的な価値があるというのも納得だわ。

立子：先生、そういえば太平洋戦争中も隅田川周辺が空襲によって焼け野原になったと聞きました。

先生：そうだね。空襲の20年あまり前にも（ ④ ）が起きて、東京の広い範囲が焼けてしまう被害があったばかりなのにね。江戸、そして東京は現在に至るまで、何度も災害などを乗り越えてきたんだね。ほら、このビルにはこんなことが書かれているよ。



共子：免震？ 地震の対策ね。でも耐震という言葉は聞いたことがあるけど、このビルが動くことと免震とは、どんな関係があるのですか？

先生：耐震は建物自体の強度を高くして揺れに耐える構造のことだから、イメージがわくよね。さて、免震だけど、地面の揺れが建物に直接伝わりにくい構造にして、建物の揺れを少なくする機能のことなんだよ。地震が起きたときに、たしかにこのビルは地面に対しては動くのだけど、別の視点で見るとビルは動いていないというか……。

共子・立子：うーん、よくわからない！

先生：そうだよね。じゃあ、⑤免震構造について、学校に戻ったら実験して見せてあげるね。日本は世界的に見ても、⑥地震がよく起こる地域なんだ。だから地震の対策は特に大切だね。それではもう少し南の方を散策してみようか。

3人は、日比谷公園に着きました。

共子：私、初めて日比谷公園に来たわ。

先生：江戸時代の初め頃は、日比谷公園あたりまで日比谷入江といって海だったんだよ。そこを埋め立てて大名の屋敷地として整備したんだ。

立子：え、このあたりまで海だったの！ 信じられない。埋立地^{うめたてち}ということは、地震が起きたら液状化現象が心配ね。

共子：地面から水や泥^{どろ}が出てきたり、大きな建物が傾^{かたむ}いたりしている映像を見たことがあるわ。

先生：2人ともよく知っているね。最近では、東日本大震災^{だいしんさい}が起きた時に、関東でも液状化現象が起こって、大きな被害を受けたよ。

立子：そういえば、あのとき私の町は大丈夫^{だいじょうぶ}だったけど、隣町^{となりまち}では液状化現象が起こってたって聞いたよ。震度は同じだったそうだけど、どうしてだろう？

先生：学校に戻ったら、⑦液状化現象についても実験^{じしん}して考えてみようか。もしかしたら（ ⑧ ）から、液状化現象が起こったのかもしれないね。

ところで、目の前の高層ビル群があるところも昔は日比谷入江で、その先の山手線の電車が走っているあたりが当時の海岸線だったんだよ。皇居のお堀^{ほり}の近くにある、あの建物を見てごらん。第一生命ビルというのだけど、太平洋戦争直後に何が置かれた場所か知っている？



第一生命ビル

共子：たしか、（ ⑨ ）の本部が置かれた場所ですよね。

先生：よく知っているね。戦争で敗れた日本はアメリカを中心とする連合国軍に占領されることになったんだ。（ ⑨ ）は日本政府に指令を出して、戦後の改革を進めていったんだね。さっき、明暦の大火後に江戸の町が発展した話をしたけど、戦後の東京の焼け野原を見た日本政府には、幅^{はば}の広い立派な道路や緑地を建設して、欧米並みに東京を改造させようという考えもあったみたいなんだ。

立子：その計画って、実現しなかったんですよね？

先生：残念ながらね。「敗戦国に立派な道路は必要ない」という（ ⑨ ）の反対があったことや、終戦直後で国の支出を少なくしなければいけなかったことなどが理由なんだよ。

共子：東京の街はいろいろな苦難を乗り越えてきたんですね。先生、今日は楽しかったです。何を記事のテーマにしようかな。立子、いろいろ宿題ができたわね。

会話文はここまでです。

次のページの各問いに答えなさい。

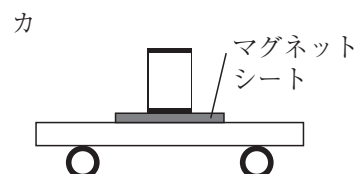
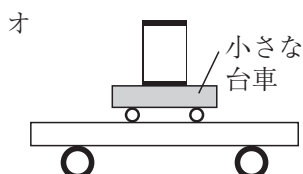
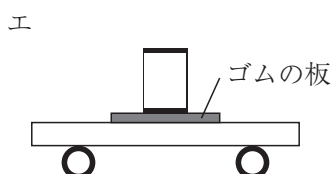
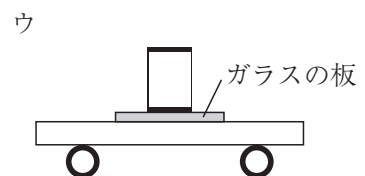
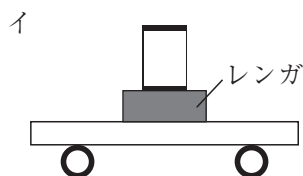
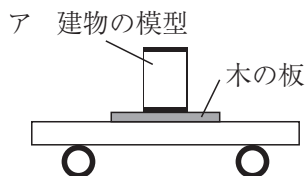
問1. 文章中の空らん(①)には、神保町の古書店の分布の^{とくちょう}特徴が入ります。方位を示すことばを必ず使って、あてはまる文を答えなさい。

問2. 文章中の空らん(②)には、古書店が問1で答えた分布になっている理由が入ります。あてはまる文を答えなさい。

問3. 文章中の空らん(③)には、^{めいれき}明暦の大火の後に両国橋がかけられた理由が入ります。「火事」と「橋」ということばを必ず使って、あてはまる文を答えなさい。

問4. 文章中の空らん(④)に入るできごとを答えなさい。

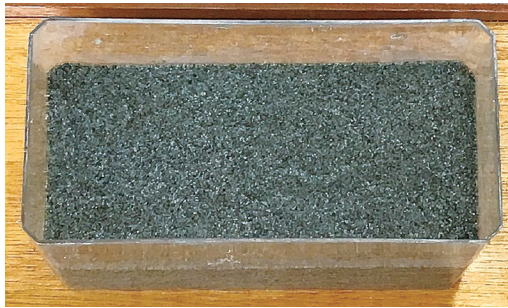
問5. 文章中の下線部⑤について、実験を行いました。下の図のように大きな台車を地面に見立てて、その上にプラスチック製の建物の模型を置いて、大きな台車を左右に細かく揺らしたところ、建物の模型も揺れました。そこで、大きな台車と建物の模型の間に「ある物」を入れて、大きな台車を同じ強さで左右に細かく揺らしたところ、建物の模型の揺れが前よりも小さくなりました。揺れが小さくなる図を、次のア～カから1つ選び、記号で書きなさい。



問6. 文章中の下線部⑥について、地震が起きた時に、地層に力が加わって割れて、割れた面に沿ってずれ動いてしまった状態を何といいますか。

問7. 文章中の下線部⑦について、実験を行いました。容器に粒の大きさがそろった砂を入れたあと、水を静かに入れて、砂全体に水分を含ませました。容器を台車の上に置き、左右に細かく揺らすと、液状化現象が起きました。次の写真は揺らす前と揺らした後の様子です。解答用紙の揺らす前の模式図を参考にして、揺らした後の模式図をかきなさい。また、液状化現象が起こる理由について、ことばで説明しなさい。

揺らす前



揺らした後



問8. 問7の実験で使った砂の代わりに、花壇から採ってきた土を容器に入れて、実験を行いました。容器に水を静かに入れて、土全体に水分を含ませました。この容器を問7と同じ強さで左右に細かく揺らしました。すると液状化現象は、花壇の土ではあまり起こりませんでした。なぜ花壇の土は砂に比べて液状化現象が起こりにくかったのか、「粒の大きさ」ということばを使って、説明しなさい。

問9. 文章中の空らん(⑧)には、立子さんの町では起こらなかった液状化現象が、隣町では起こった理由(先生の考え)が入ります。様々な理由が考えられますが、液状化現象の実験をふまえて、あてはまる文を答えなさい。なお、必ず立子さんの町と隣町を比較した文にすること。

問10. 文章中の空らん(⑨)に共通して入る語句をアルファベット3字で答えなさい。

問11. 立子さんの書く新聞の記事のタイトルは「古書店に行ってみよう」になりました。記事を読んだ生徒に、実際に古書店に行ってみようと思ってもらうために、あなたならどんな記事を書きますか。次の（ ）にあてはまるように、大まかな記事の内容を10字以内で説明しなさい。

() を紹介する (伝える) 内容

また、その内容に沿った具体的な記事を書きなさい。なお、以下の点にも注意すること。

- ・ 1～5ページまでの「本文の会話の内容」や、後の資料①～③のいずれかを参考にして書くこと。「本文の会話の内容」や資料①～③を複数組み合わせてもよい。
- ・ 解答用紙の「参考にしたもの」の項目の中から、記事を書く際に参考にしたものを丸で囲みなさい。
- ・ 記事はたて書きで、120字～150字で書きなさい。
- ・ 記事の書き出しは1マス空けずに、最初のマス目から書きなさい。
- ・ 段落分けはしないこと。
- ・ 句読点や「 」 () なども必ず1マス使うこと。また、それらが行の先頭にきてしまう場合でも、1マス使うこと。
- ・ 文末の表現は「です・ます」でも「だ・である」でもよいが、どちらかに統一すること。

資料①：インタビュー

以下の内容は、共子さんと立子さんが、古書店を訪れていたお客さんにインタビューをした時のやり取りです。

共子：どんな本を探しているのですか。

お客：直感で、ふと気になった本を手にとって見えています。タイトルや本の表紙や帯など、なんとなくこころ惹かれるな、と思える点がどんな本にもあるものです。

立子：目的がなくても、軽い気持ちで古書店めぐりをしてみてもいいのですね。

お客：そうですね。偶然手に取ったものが、運命の出会いになることもありますよ。そして、もう日本のどこを探しても売っていないような海外の絵本や、数十年前に販売が中止になった小説など、普通の本屋で手に入らないものも多く取り扱われているので、そんな本に出会えると感動します。

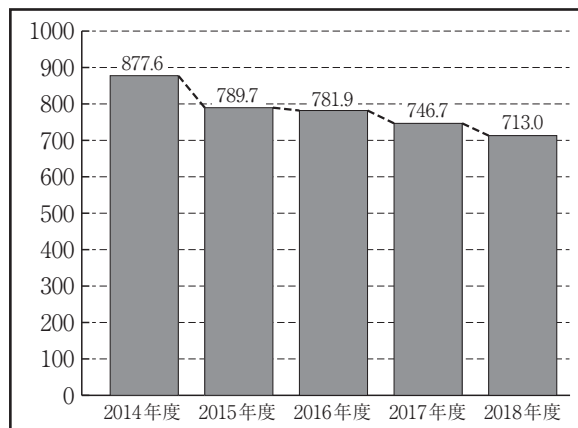
共子：古本は、元の持ち主さんがいると思いますが、気になりますか？

お客：古本の醍醐味は、前の持ち主がどういう人だったのかを想像することです。なんでこんなところに、というところに引いてある線や、ふと書き留められたコメント、特にしわの入ったページ、挟まったメモなど、持ち主が読んだ跡が

いくつも見つかります。本を読み進める中で、その線を引いた理由がわかることもあるんですよ。

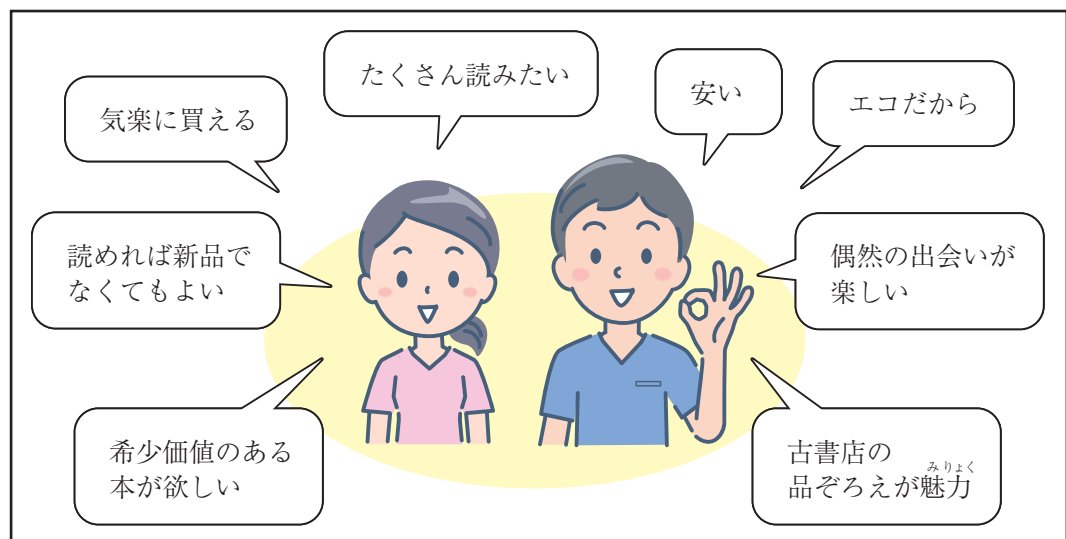
立子：なるほど、元の持ち主さんと一緒になって本を読んでいるような気持ちになれるのですね。教えてください、ありがとうございました。

資料②：古本・古書の市場規模（億円）



（出典：『出版物販売額の実態2019』（日本出版販売株式会社）より本校が作成）

資料③：古本・古書を買う人の理由



（出典：『朝日新聞』2017/4/1・朝刊「be between 読者とつくる」P.10より本校が作成）

問12. もしあなたがこの散策をもとにして問 11 の古書・古書店以外のテーマで記事を書くとしたら、どのような記事を書きますか。本文の会話を参考にテーマを1つ決め、記事のタイトルを10字以内で書きなさい。また、そのテーマを選んだ理由と、どのような記事を具体的に書きたいのかを、新聞委員会で提案することを想定した文章として考えて書きなさい。なお、記事を充実^{じゅうじつ}させる上で必要な資料、または取材したい内容を必ず含めて書くこと。ただし、以下の点にも注意すること。

- ・提案はたて書きで、120字～150字で書きなさい。
- ・提案の書き出しは1マス空けずに、最初のマス目から書きなさい。
- ・段落分けはしないこと。
- ・句読点や「 」()なども必ず1マス使うこと。また、それらが行の先頭にきてしまう場合でも、1マス使うこと。
- ・文末の表現は「です・ます」でも「だ・である」でもよいが、どちらかに統一すること。

(問題はこれで終わりです)

